

議員も町幹部も候補地に反対!

高レベル放射性 廃棄物地層処分に係る 公開質問状の回答のおしらせ

二丈町のみなさま

私たちは、玄海原発現地で原発問題と環境問題に取り組んでいる「からつ環境ネットワーク」、自然エネルギー普及活動をしている「たんぼぼとりで」(福岡市)、株主の立場で九州電力に情報公開と健全経営を求める「九電消費者株主の会」、および「脱原発ネットワーク・九州」という団体です。

2月26日の毎日新聞記事「(高レベル)放射性廃棄物最終処分場二丈町で誘致の動き」を見ました。地方財政が悪化する中、国は、補助金を一気に5倍にあげました。しかし、お金と危険性が絡むと町の意見は二分され、取り返しのつかない騒動になります。

●私たちは、美しく人情豊かな二丈町が、全国各地に点在する、町おこしの会議も開けないような、しこりを抱えた町になってほしくはありません。

●二丈町の農海産物を安心して食べ続けます。

●放射能の処分場が来れば、唐津も福岡も他人事ではなく、自分の町の問題と同じことです。

記事には「町長は反対の立場を明言」とありましたが、町の責任者や議員の考え、事実関係を知りたいと思い、アンケートを実施しました。

3月16日、町長、助役、収入役、教育長と町議会議員全員(19名)に郵送。

質問は12項目、回答は「はい」「いいえ」「自由記述」の3つです。選挙前の多忙な中にも拘らず、幹部を含む9名の方に丁寧な回答をいただきました。

「わからない」(1人)をのぞく、回答者全員が最終処分場の候補地になることに反対とあり、安心しました。

心からお礼申し上げます。

参考

最終処分場を断った自治体

福井県和泉村 高知県佐賀町 熊本県御所浦町 鹿児島県笠沙町
滋賀県余呉町 鹿児島県宇検村 高知県津野町 長崎県対馬市
鹿児島県南大隅町など